

## 1.18 CIM 解決研究会第 21 回勉強会のご報告

平成 29 年 1 月 18 日

CIM 解決研究会事務局

去る紀尾井フォーラムにおいて、34 名の参加者を得て第 21 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。

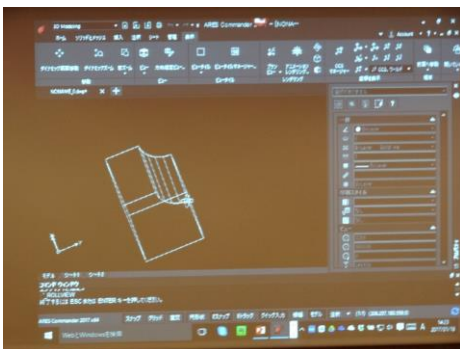
### 第一部 会員様・元講師様限定の勉強会

会員様・元講師様のみ参加できる第一部では、3D プリント向けのセメント開発に関する報告やそれに対するどのようなニーズがあるかの話し合い、CAD の勉強会の開催構想などに関する話し合いが行われました。

### 第二部 ゲストスピーカーによる講演

「Jdraf から ARES へ 次なるステップのご紹介」 グレバートジャパン(株) 江端陽二様

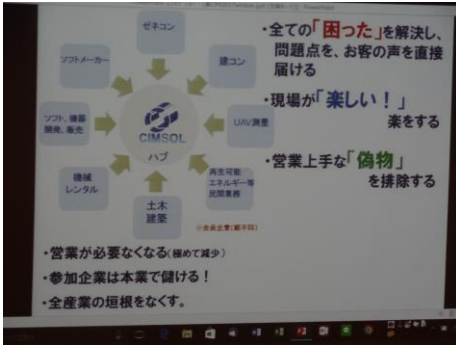
2 月 20 日にこれまでのブランド「Jdraf」に代わりリリース予定の DWG 互換 CAD「ARES」に関するお話を頂きました。新たな上位製品「Commander」の登場により、簡単な 3 次元モデルの作成やブラウザ上でログインするだけで使用することが可能になることが発表されました。参加者の方からは「自社で Jdraf を導入しているので、ARES になってからの話がとても興味深かった」といった感想を頂きました。



「現場の 3 次元化事例等」 当会 齊藤学一、福士幹雄

福士からは道路基準点案内システムの概要や、ICT 施工における現場の進捗状況確認の仕組みに関するお話をさせて頂きました。齊藤からは現場作業の時短につながるタブレットの活用案や、毎週土曜日の 13 時から当会正会員を対象にした勉強会を行う構想を発表させて頂きました。参加者の方からは「地方自治体などの工事の流れが見え、ビジネスチャンスがあると感じた」といった感想を頂きました。





勉強会終了後の懇親会には 16 名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

